

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2024年日本陸上競技連盟規則及び大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. ウォーミングアップについて

開門 7:00 本競技場使用許可時間(トラックのみ) 7:30~8:30

※棒高跳ピットについては 8:00 以降使用可能

## 3. 招集、点呼について

(1) 招集場所は、第1ゲート外側招集所に設ける。(ゴール外側)

(2) 招集時間

	招集時間	完了
トラック競技	30分前	20分前
走高跳 走幅跳	50分前	40分前
棒高跳	70分前	60分前
砲丸投 円盤投	40分前	30分前

※事前に棄権がわかっている場合は、棄権届けを招集時刻前までに、招集所へ提出すること。

※砲丸投、円盤投の投てき練習については、定められた時間のみ投てき場で行なう。

(本競技場での投てき練習は、2本の練習を確保する。)

(3) リレー種目のオーダー用紙は、予選・決勝とも招集完了の1時間前までに招集所に提出すること。

(オーダー用紙は招集所・TICに用意する)

(4) 招集完了後、選手誘導係の誘導により入場するので、招集完了者はその場で待機すること。

※棒高跳については、選手の誘導はしない。

(5) 電子機器類の競技場への持ち込みを禁止する。スマートフォン、音楽プレーヤー、スマートウォッチ等。招集時にチェックする。

(6) アスリートビブスは配布されたままの大きさとユニフォームの胸背部に確実に固定すること。

尚、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。

(7) 800m以上に出場する競技者については、腰ナンバーカードを招集時に受け取り、右腰の上部やや後方につけること。レース終了後、係員に返却のこと。

## 4. 競技について

(1) 全天候競技場につき、スパイクピンの長さは9mm以内(走高跳は12mm以内)とする。

(2) 競技用シューズの靴底の厚さは、日本陸連競技規則(TR5)の通りとする。

(3) トラック競技の決勝進出者については、アナウンスするとともに記録掲示板(2階)及び招集所掲示板に掲示する。

(4) ビデオ監視システムを使用し、判定を行うことがある。

(5) 800mまでのトラック競技は[3組2着+2]を採用するが、同記録の場合、次ラウンドへの進出は1/1000秒で判定し決定する。尚、同記録の場合は4県委員長で協議の上決定する。

- (6) 4×100mリレーの第2・3・4走者は、主催者が用意するマーカーを使用すること。
- (7) 短距離種目では安全確保の為、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (8) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	練習			開始				
<男子走高跳>	1.60	1.75		1.65	1.70	1.75	1.80	以降 3 cm刻みとする
<女子走高跳>	1.35	1.50		1.40	1.45	1.50	1.55	以降 3 cm刻みとする
<男子棒高跳>	2.90	3.50	4.00	3.00	3.20	3.40	3.60	以降 10 cm刻みとする
<女子棒高跳>	1.90	2.50	3.00	2.00	2.20	2.40		以降 10 cm刻みとする

(天候等、状況に応じて練習の高さは変更する場合がある。)

1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm刻みとする。

- (9) フィールド種目の競技者による映像確認については、メインスタンドからは不可とする。(TR6)
- (10) 器具については、競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳のポールの検査については、競技開始前にピットにおいて跳躍審判が行う。
- (11) 抗議は、競技規則(TR8)にしたがってメイン競技場正面玄関前 TIC にて受け付ける。ただし、その際は各県の委員長を通じておこなうこと。

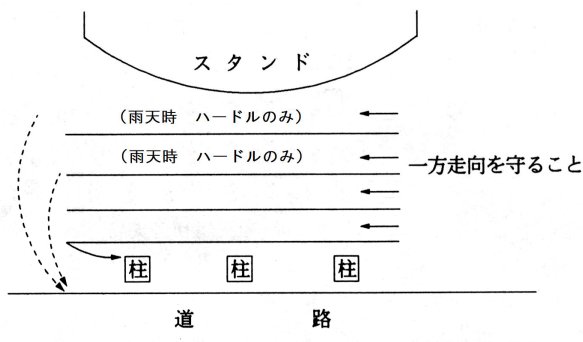
## 5. その他

- (1) 選手・審判員以外のグラウンド内への出入りを禁止する。(各県委員長は除く)
- (2) 開会式には競技者としてふさわしい服装で、選手宣誓(開催県選手)、各県旗手(1名)参加のこと。
- (3) トラック競技の決勝種目については、係員がフィニッシュ地点まで衣類等の運搬をするので、指定されたカゴに入れること。ただし、フィニッシュ地点がスタート地点の競技及びリレー競技は除く。
- (4) 1位～8位の入賞者は、表彰を行うので競技終了後ただちに本部表彰控席に集合すること。
- (5) 大会当日の傷害については、応急処置を行うがそれ以後の責任は負わない。
- (6) 走り終わった選手は、係員の指示に従い移動すること。
- (7) 会場での注意事項
- ・チームで出したゴミは、全て持ち帰ること。(競技場周辺のごみ集積所、駅、コンビニなどに捨てない)
  - ・メインスタンドにおいて、集団での応援は禁止する。
  - ・横断幕、部旗及びのぼり旗等の設置については、バックスタンド中央及び後部フェンス、芝生スタンド上部フェンスのみとする。(ガムテープ・テーピングテープなどは絶対に使用しないこと。)
  - ・テント(タープ類の簡易テントも含む)の設置は、危険防止の為、バックスタンドと芝生スタンドのみとする。
  - ・防水塗装保護の為、2階コンコース上にベンチを設置する場合、粘着テープや傷をつける可能性のあるブロックや石などを使用しないこと。
- (8) 商標について
- ・競技場内に商標のついた衣類・バック等を持ち込む場合は、以下の規定を守ること。
  - ・上半身の衣類・面積 30cm<sup>2</sup>以内の長方形、文字は縦 4cm以内、ロゴ全体で縦 5cm以内 1ヶ所
  - ・下半身の衣類・面積 20cm<sup>2</sup>以内の長方形、文字は縦 4cm以内(ロゴを含む)1ヶ所
  - ・バッグ・面積 25cm<sup>2</sup>以内で、ロゴは 2ヶ所までとする。
  - ・競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。
- (9) 第2競技場・投てき場使用の注意事項
- ・ホームストレートでの練習

- 1・2レーン → 周回練習レーン 周回連続使用可
- 3・4レーン → SD練習レーン スタブロ使用可
- 5・6レーン → 100mH練習レーン スタブロ使用可
- 7・8レーン → 110mH練習レーン スタブロ使用可
- ・第1コーナー～バックストレート～第3コーナーでの練習
  - 1・2レーン → 周回練習レーン 周回連続使用可
  - 3～8レーン → 流し、リレー練習 スタブロ使用可
- ・フィールド内での練習
  - 芝生内 → ジョグ・ストレッチ・ドリルのみ可能。流しやダッシュ等は禁止
  - 跳躍種目 → 走高跳については第2曲走路内にて1ピット使用可能  
走幅跳については主催者が設置した方向へ2ピット使用可能
- ・砲丸投、円盤投の練習は指定時間にて投てき場で行うこと。また、メディシンボールやソフトメディシンボールを使用した練習は禁止する。
- ・走路及びピットに立ち止まるとの指導等は禁止する。
- ・走路は左回りとし、逆走は禁止する。
- ・走路及びピット等を横切るときは衝突事故に気をつけ、速やかに渡ること。
- ・その他審判員の指示に従うこと。

(10)雨天練習場については次のことを厳守すること。

- ・内側2レーンは、雨天時のみハードル専用とし、外側2レーンは、流し等の専用とする。
- ・走路の横断は禁止する。スタンド及びサブトラックへの移動は、走路に沿って移動し、第2ゲート及び第3ゲート付近から移動すること。
- ・衝突事故防止の為、スターティングブロックの設置を禁止する。
- ・オールウェザー部分をチームのベンチにすることを禁止する。
- ・雨天時には混雑が予想されるので、係員の指示に従い、互いに譲り合ってケガのないように使用すること。



(11)観客席からの撮影制限について

- ・写真・動画撮影はスマートフォン・タブレット端末のみ可能とする。  
ただし、以下の撮影は禁止する。
  - ①各種目のスタート後方と、走高跳、棒高跳、走幅跳の助走後方および着地前方
  - ②競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする時
- ※その他の状況でも主催者が不審と判断した場合は、関係機関と連絡を取り対処する。